

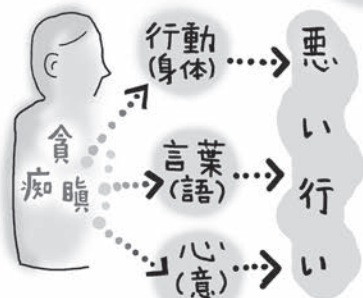
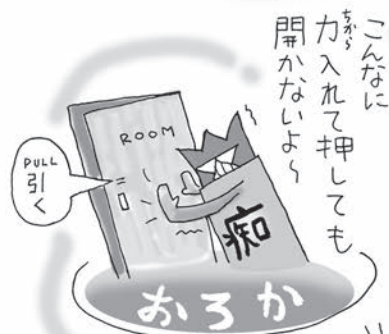
弟 天之 堂 妹 奈 さん

てんのか？

編行勤

16

懺悔文 後編



「悪い行いとして現れるんじゃよ」

みんなの中にある  
貪・瞋・痴が  
行動と  
言葉と  
心を通して





それには

自己認識

自己反省

が大切なんじや

相手を傷つける

ことはなかったかなど、  
したこと、  
言ったこと、  
思ったこと、  
よく思い返して  
みることじや。

この振り返りと  
反省が  
自分を  
つくりあげて  
いく道じやよ



経文の最後じや

我昔所造諸悪業

皆由始貪瞋痴

従身語意之所生

一切我今皆懺悔

これは一切のことを  
詫びると同時に  
繰り返さない  
「もうしません」という  
決意」と「お詫言いで」  
重要なことなんじや

あの紙は

もうしません

いらいと  
ずねね



考えてもらん

お詫びしても

同じことを

繰り返す人は

心から反省している

と思うかい？

そんな人は

信用できないし、

付き合いたく

ないじゃろ？

反省？



あや  
まり  
ます  
お詫び？



へへ  
スマーシ

ごめんなさい

反省のない

「ごめんなさい」は

神様にも

人にも  
通じないのね



ボク  
の  
「ごめんなさい」も  
中身が  
なかったかな...



心から  
反省







## 謙虚な心からスタート

懺悔文にある、貪瞋痴をまず、自分の中にもあると認めることが大切です。

どんな偉業を成し遂げた素晴らしい人格者や修行を積んだ偉いお坊さんであっても、神仏に比べたら欠けた部分がある存在であり、またその瞬間が良くて、常に清廉潔白な正しい人であり続けることは不可能だからです。さらに貪瞋痴は「知らずに犯している」ことが多いため、自ら気づくことは容易ではありません。

まずは、足りない自分だと認め、いつも謙虚な心でいることが大切です。それが良い人生を歩む第一歩です。

また、謙虚であっても、「あの人よりはまし」と、誰かと比べて安心してしまっていたのでは、成長はありません。

自惚れが強く自分に甘い私たちには、厳しい目を持って自分を見つめ、み教えのモノサシで計る「自己認識」「自己反省」の実践が大切です。

日々の勤行で懺悔文をお唱えする中で、自己を省みる癖付けをし、繰り返し返さない決意を持って、さらに向上していきましょ。